

## 「復興農学会」事務局会議（第45回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2022年4月27日（水）18時00分～18時45分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 伊藤 央奈（郡山女子大学）、溝口 勝（東京大学）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、大川 泰一郎（東京農工大学）、安達 俊輔（同）、小倉 振一郎（東北大学）、内田 修司（福島高専）、新田 洋司（福島大学）、横山 正（同）、佐伯 爽（同）  
（敬称略）

### 議事録

#### 1. 本学会と福島大学「復興知」事業の関係性について（横山、新田）

新田、横山 特任教授より、本学会と福島大学「復興知」事業との関係性について、以下の説明があった。

- ・本学会と福島大学「復興知」事業は、本学会設立当初よりそれぞれ別の事業として運営され展開されているが、本学会の発足当初は、福島大学「復興知」事業の一部経費を使って本学会のホームページを運用したことがあったことから、相互に関係性があるとイノベ機構より指摘されていた。したがって、本学会では学会費の徴収や広告収入を得ること（Web上、学会誌など）ができないとイノベ機構より指摘されていた。
- ・また、イノベ機構より、このことを解消するためには、本学会と福島大学「復興知」事業が別事業であることを同機構ならびに文部科学省に文書等で説明する必要があると指摘されていた。
- ・そのため、福島大学「復興知」事業メンバーは、昨年度よりイノベ機構に説明をしてきたが、理解を得られるに至らなかった。

さらに、新田、横山 特任教授より、本年度になってイノベ機構と相談をした結果、以下の点が判明したこと、また、これらについて福島大学「復興知」事業から文書をイノベ機構に提出して確認されたことが報告された。

- ・イノベ機構は、本学会と福島大学（復興知）事業は支援・経費面で関係しないことを確認した。
- ・イノベ機構・文科省等に文書の提出等は必要ない。
- ・本学会ホームページは現在のサーバーを使い内容をそのまま運用可能である。
- ・会員から会費を徴収できる。
- ・広告収入を得ることができる（ホームページ・学会誌に広告を掲載できる）。

したがって、本学会と福島大学「復興知」事業は、別の事業として運営・展開されていることがイノベ機構でも確認され、今後は上記のように運営することが可能となった。

以上の点が確認された。また、会員からの会費の徴収方法や、広告の掲載や収入を得るための方法等について、まずは事務局において具体的に検討し進めることが確認された。さらに、今後開催する総会において予算や決算等の会計について審議・報告することが確認された。

#### 2. 学会誌・編集委員会関係について（横山、安達）

横山 特任教授、安達 准教授より以下の点が報告された。

- ・第4号の編集状況について  
原著論文は2報が査読中であり、5月ごろに審査が終了する見込み。
- ・J-STAGE への登録  
本学会誌の J-STAGE への登録が認められた。今後は、安達 准教授が PDF ファイルをアップする予定。

#### 3. 日本農学会 2023 年度シンポジウムテーマの募集について【資料】（新田）

新田より資料にもとづいて、日本農学会 2023 年度シンポジウムの全体テーマを本学会から提案するか

どうかについての審議提案があった。審議の結果、各委員が全体テーマ等について検討し、次回の本会議（5月25日）で再度検討することとなった。

#### 4. 「復興知」事業の審査結果に付された全事業にたいする「付帯意見」について（新田）

新田より、全回の本会議（3月23日）で、「復興知」事業の審査（3月18日）の結果、すべての事業にたいして付された「付帯意見」（下記）について、事業を実施する農学系大学等が連名でイノベ機構に意見を具申してはどうかとなっていたことが報告された。

○今後の活動にあたって、SDGs や環境を念頭に置いた人材育成に一層力を入れてもらいたい（特に、農業分野の取組は、みどりの食料システム戦略を念頭においてほしい）。

しかし、その後、意見を具申する場合、連名であっても大学の名前を使う場合には、事業責任者ではなく学長・副学長レベルの確認（決済）が必要であること等がわかり、農学系大学等の連名でイノベ機構に意見を具申することは取りやめることになったことが報告された。

#### 5. 当面の事務局会議開催日時について（新田）

新田より、事務局会議の当面の開催日時について、メンバーの希望日程確認の結果、毎月第4水曜日の18時00分から1時間程度とすることが報告された。

#### 6. その他

##### (1) 「地域復興実用化開発等促進事業」等について

溝口 教授より、「地域復興実用化開発等促進事業」補助金事業で、補助金の申請や物品の購入・管理などが「G ビズ」で実施されるようになり、かえって煩雑になったこと、このようなシステムや管理方法が「復興知」事業などにも関係している可能性も考えられること、などが紹介された。

以上

#### 今後の予定

- ・事務局会議（第46回） 2022年5月25日（水）18時00分から
- ・事務局会議（第47回） 2022年6月22日（水）18時00分から
- ・事務局会議は当面、毎月第4水曜日 18時00分から1時間程度開催。

## 「復興農学会」事務局会議（第46回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2022年5月25日（水）18時00分～18時45分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、小倉 振一郎（東北大学）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、横山 正（同）、佐伯 爽（同）  
（敬称略）

### 議事録

#### 1. 会費の徴収方法・広告の掲載方法等について【資料】（横山、新田）

新田より資料にもとづいて会員からの会費の徴収方法および広告の掲載方法等について提案があった。審議の結果、会員からの会費の徴収については、事務局から会員にメールで一斉連絡し、6月末を期限として納入依頼をすることが確認された。広告の掲載については、2021年6月26日制定文書にのっとって進めることが確認された。なお、2021年度の時点で広告の掲載希望があった企業等へは、横山 特任教授より案内をして依頼することとなった。

#### 2. 学会誌・編集委員会関係について（横山）

横山 特任教授より学会誌の編集状況について報告があった。原著論文が3報査読中であること、3月に研究会が開催されたこともあって論文投稿数が増える傾向にあること等も報告された。

また、J-STAGEへの登録について、現在、安達 准教授が準備を進めていることが報告された。

#### 3. 日本農学会2023年度シンポジウムテーマの募集について【資料】（新田）

新田より資料にもとづいて、前回会議からの継続で、日本農学会で2023年度に開催されるシンポジウムに本学会よりテーマ等を提案するかどうかについて審議提案があった。審議の結果、本学会では農業・農学の復興やSDGs、Regenerative Agriculture（RA）等の関係で提案できる話題を多く持ち合わせていることから、今回、シンポジウムにテーマ等を提案することとなった。については、テーマと概要（100字程度）の案を溝口 教授が作成し、メンバーで確認して提出することが了承された。

#### 4. その他

なし

以上

### 今後の予定

- ・事務局会議（第47回） 2022年6月22日（水）18時00分から
- ・事務局会議（第48回） 2022年7月27日（水）18時00分から
- ・事務局会議は当面、毎月第4水曜日 18時00分から1時間程度開催。

## 「復興農学会」事務局会議（第 47 回） 議事録

文責 佐伯 爽（福島大学）

日時 2022 年 6 月 22 日（水）18 時 00 分～19 時 00 分

方法 Zoom による Web 会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（東京大学）、大川 泰一郎（東京農工大学）、小倉 振一郎（東北大学）、石井 秀樹（福島大学）、横山 正（同）、佐伯 爽（同）  
（敬称略）

### 議事録

#### 1. 会費の徴収について（新田／代理・石井）

前回（5 月 25 日）の事務局会議で、会費徴収について、事務局から会員にメールで一斉連絡し、6 月末を期限として納入依頼をすることとなっていたが、進められていないことが報告された。先生方より、会費徴収を進めるにあたり、以下のような意見が出された。▼会費徴収対象者の確認、▼会員に会員番号を付与し、振込確認等に活用、▼会計用メールアドレスの作成、▼領収書発行依頼等への対応法の確認、▼会計幹事、庶務幹事の必要性の検討、▼論文投稿資格や研究会発表資格と会員・非会員の位置づけ、▼3 月の総会で決算報告の必要がある 等。

審議の結果、福島大学の事務局において、会費の徴収に必要な事項から順次検討し、会費の徴収を進めるとともに、会計の仕組みづくりを進めていく旨が確認された。

#### 2. 学会 Web 等への広告の掲載について（横山）

2021 年度の時点で広告の掲載希望のあった企業等への連絡についても、進められていないことが報告された。広告の掲載希望があった企業へは、会費の徴収システムが整った段階で、横山 特任教授より案内することが確認された。

#### 3. 学会誌・編集委員会関係について（横山）

横山 特任教授より学会誌の編集状況について報告があった。原著論文 3 報について、査読が進んでいることが報告された。2022 年 7 月号は、査読中の原著論文に加え、3 月に実施された研究会の要旨等を加えた内容で発行される見込みにあることが報告された。

J-STAGE の登録については、安達 准教授が引き続き準備を進めていることが報告された。

#### 4. 日本農学会 2023 年度シンポジウムテーマの申請について（新田／代理・石井）

溝口 教授から、2023 年度日本農学会シンポジウムに本学会より提案したテーマ「リジェネラティブ農業と SDGs」について内容が紹介された。また、2022 年度日本農学会シンポジウムにおいて、「地域バイオマスを活用した堆肥づくりと除染後農地土壌の肥沃度向上」について溝口 教授が講演することも紹介され、復興農学会の活動も含めた内容で講演する予定であることが報告された。

## 5. その他

なし

以上

### 今後の予定

- ・事務局会議（第48回） 2022年7月27日（水）18時00分～
- ・事務局会議（第49回） 2022年8月24日（水）18時00分～
- ・事務局会議は当面、毎月第4水曜日 18時00分から1時間程度開催。

「復興農学会」事務局会議（第 48 回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2022 年 7 月 27 日（水）18 時 00 分～18 時 25 分

方法 Zoom による Web 会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、小倉 振一郎（東北大学）、新田 洋司（福島大学）、横山 正（同）、佐伯 爽（同）  
（敬称略）

議事録

1. 会費の徴収について（新田）

新田より会費徴収について、前々回（5 月 25 日）の事務局会議で、事務局から会員にメールで一斉連絡し 6 月末を期限として納入依頼をすることとなっていたが進められなかったこと、また、前回（6 月 22 日）の事務局会議で会費の徴収について議論されたが進められなかったことが報告された。新田より不手際についておわびがあった。

新田より再度以下のように提案があり、審議の結果了承され、会費の徴収作業が進められることが確認された。

会費徴収・確認作業の進め方

1. 杉野 助教より新田に会員名簿を送付。
2. 学会 Web の「会員からの投稿」を使って、新田より全会員にメールで 2022 年度会費の納入を依頼する。  
会費 個人会員 2,000 円、団体会員 4,000 円  
納入先：ゆうちょ銀行口座  
口座名称：復興農学会（復興農学会）  
口座記号番号：00140-5-488013  
（ゆうちょ銀行以外から振り込む場合）  
店名（店番）：〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）  
預金種目：当座  
口座番号：0488013  
締め切り：8 月 31 日（水）
3. 新田がゆうちょ銀行の口座 Web で入金を確認し、名簿に入金日を記載する。

2. 学会誌・編集委員会関係について（横山）

(1) J-STAGE への登録完了について

横山 特任教授より、本学会誌の J-STAGE への登載が完了したことが報告された。

(2) 学会誌の編集および原著論文の投稿・審査状況について

横山 特任教授より、7 月発行の第 2 巻第 2 号について、現在、編集委員会（横山 特任教授、安達 准教授）で編集作業が進められ 7 月 31 日には発行する見込みであること、原著論文 3 報、現場からの報告 1 報を含む総ページ数が 80 ページ程度で充実した内容であることなどが報告された。

### 3. 科学技術振興機構よりの著者抄録利用許諾願いについて（新田）【資料】

新田より、科学技術振興機構から著者抄録の利用許諾依頼が届いており、同機構が運用する文献データベース「JDream III」、「J-GLOBAL」に著者抄録（Abstract）等を登録するかどうかについて検討依頼があった。審議の結果、同機構が著者抄録の利用を可とすることとし、同機構に報告することとなった。

### 4. その他

#### (1) 日本農学会 2022 年度シンポジウムについて

溝口 教授より、日本農学会が10月1日（土）に開催するシンポジウム（テーマ：カーボンニュートラルの達成に向けた農学研究）について、話題提供者とテーマ等について、同教授の発表を含めて紹介があった。

以上

### 今後の予定

- ・事務局会議（第49回） 2022年8月24日（水）18時00分から
- ・事務局会議（第50回） 2022年9月28日（水）18時00分から
- ・事務局会議は当面、毎月第4水曜日 18時00分から1時間程度開催。

## 「復興農学会」事務局会議（第 49 回） 議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2022 年 8 月 24 日（水）18 時 00 分～18 時 30 分

方法 Zoom による Web 会議

出席者 伊藤 央奈（郡山女子大学）、溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、安達 俊輔（東京農工大学）、  
新田 洋司（福島大学）、横山 正（同）、佐伯 爽（同）  
（敬称略）

### 議事録

#### 1. 学会誌・編集委員会関係について（横山・安達）

横山 特任教授より、第 3 巻第 1 号の論文投稿・編集状況等について、現在投稿論文がない状況であり、今後会員に、メーリングリスト等で投稿を呼びかけること等の報告があった。また、会員に総説・論文等の投稿を依頼することについて提案があり、同特任教授が会員に相談することとなった。

安達 准教授より、第 2 巻第 2 号までの全 3 号分が J-STAGE に掲載されたことが報告された。

#### 2. 会員の会費の納入状況について（新田）

新田より、7 月末に全会員にメーリングリストで 2022 年度会費の納入依頼が送付され、その後本日までにおよそ 40 名が納入したこと、今回の納入締め切りが 8 月 31 日（水）であり、近々に再度、メーリングリストで納入依頼を送付することが報告された。

#### 3. その他

##### (1) 日本農学会 2022 年度シンポジウムについて【資料】（新田）

新田より資料にもとづいて、日本農学会 2022 年度シンポジウムが 10 月 1 日（土）に対面・オンライン配信のハイブリッドで開催され、本学会より溝口 教授が講演されること、また、参加には日本農学会 Web から事前登録する必要があること等が報告された。

##### (2) その他

溝口 教授より、東大むら塾による飯舘村における「大学生サミット」が 9 月 19 日（祝・月）～20 日（火）に開催されることが報告された。

新田より、日本作物学会講演会が福島大学で 9 月 20 日（火）～21 日（水）に開催されること、20 日（火）に開催される一般公開シンポジウムはだれでも無料で参加可能であり、ぜひ参加いただきたいこと等が報告された。

以上

### 今後の予定

- ・事務局会議（第 50 回） 2022 年 9 月 28 日（水）18 時 00 分から
- ・日本農学会 2022 年度シンポジウム 2022 年 10 月 1 日（土）10 時 00 分から
- ・事務局会議（第 51 回） 2022 年 10 月 26 日（水）18 時 00 分から
- ・事務局会議は当面、毎月第 4 水曜日 18 時 00 分から 1 時間程度開催。



## 「復興農学会」事務局会議（第 50 回） 議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2022 年 9 月 28 日（水）18 時 00 分～18 時 55 分

方法 Zoom による Web 会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、大川 泰一郎（東京農工大学）、小倉 振一郎（東北大学）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、横山 正（同）、佐伯 爽（同）  
（敬称略）

### 議事録

#### 1. 学会誌・編集委員会関係について（横山）

横山 特任教授より、第 3 巻第 1 号（2023 年 1 月発行予定）の投稿・審査状況について報告があった。生源寺 会長が投稿予定であること、緑肥に関する総説や東京大学関係者による論文投稿について確認・報告があった。また、10 月 1 日に開催される日本農学会シンポジウムで溝口 教授が講演する内容の一部（エッセンス）を掲載することとなった。

浜通り地域の自治体の動向に関する記事の掲載について検討され、未掲載であった富岡町については大川 教授が同町長に連絡するなどして掲載する方向で検討することとなった。また、自治体の動向等に関する情報を、首長・部課長に執筆してもらうか事務局会議メンバーがインタビューを実施してまとめ、学会誌に定期的に掲載してはどうかとの意見があり、編集委員会で検討することとなった。

横山 特任教授より、第 3 巻第 1 号の投稿は随時受け付けているが、12 月までは受け付け・審査が可能であること、原著論文ばかりではなく「現場からの報告」や短い論文でもよいので積極的に投稿して欲しい旨の依頼があった。

溝口 教授より、東大むら塾による「福島飯館学生サミット」（9 月 19～20 日。飯館村防災センター）について記事にしてはどうかとの提案があり、同教授が東大むら塾メンバーに依頼することとなった。

#### 2. 会員の会費の納入状況について（新田）

新田より会員の 2022 年度会費の納入状況について、8 月末を締め切りとして全会員にメールで納入を依頼したが 9 月に入ってから納入者があること、9 月 27 日までに 62 名が納入したこと、新規の入会者 1 名が会費を納入したこと、が報告された。

#### 3. その他

##### (1) 日本農学会 2022 年度シンポジウムについて（新田）

新田より、日本農学会主催のシンポジウムが下記のように開催され、本学会より溝口 教授が講演すること、積極的な参加が期待されることが報告された。

溝口 教授より、シンポジウムで話題提供すべき情報があれば、すみやかに提供いただきたいとの依頼があった。

（日本農学会 2022 年度シンポジウム）

日時 10 月 1 日（土）10 時 00 分から

場所 対面・オンライン配信のハイブリッド

テーマ カーボンニュートラルの達成に向けた農学研究

本学会より溝口 教授が講演

タイトル：地域バイオマスを活用した堆肥づくりと除染後農地土壌の肥沃度向上

・参加には事前登録が必要（日本農学会 Web より）。

##### (2) その他

### ①「サマースクール」等の実施について

黒瀧 教授より、コロナ下前に構想があった「サマースクール」等について実施を検討してはどうかとの提案があった。意見交換・審議の結果、以下のような意見を参考にして実施に向けて引き続き検討することとなった。▼宿泊して実施したいが、宿泊地はホテルなどではなく「古民家」のようなところがよい（溝口 教授）、▼葛尾村では廃校となった中学校の建物があり、東北大学で以前実施した「復興農学実習」では40人が寝袋で「雑魚寝」して実施した。風呂は葛尾村宿泊交流館「みどりの里せせらぎ荘」を利用した。「サマースクール」等に利用可能かも知れない（小倉 教授）。

### ②総会・研究会の実施および役員選出規程等の整備について

新田より、2023年2～3月に総会・研究会を対面で開催してはどうかとの提案があった。また、その際、未整備の役員選出規程等を審議し了承後、施行すること、会計について報告し審議・了承を得る必要があること等が確認された。さらに、総会・研究会を「福島国際研究教育機構」の立地が決まった浪江町で、本学会の活動と連携して開催するのがよいとの意見があった。審議の結果、事務局で原案を作成し、10月の本会議で再度検討することとなった。

横山 特任教授より、研究会の開催を現在の年1回から年2回にしてはどうか、それにより学会誌への論文等の投稿数が多くなり活性化につながるのではないかなどの意見があった。このことについては引き続き検討することとなった。

### ③本会議の今後の開催日時について

新田より後期になり本会議の開催日時を再確認・調整する必要があるため、Web（「伝助」など）で日程調整することが報告された。なお、次回は予定どおり10月26日（水）18時00分から開催すること、次々回以降（11月以降）は「毎月第4水曜日18時00分」から変更する必要があることが提案され了承された。

以上

### 今後の予定

- ・日本農学会 2022年度シンポジウム 2022年10月1日（土）10時00分から
- ・事務局会議（第51回） 2022年10月26日（水）18時00分から
- （・事務局会議（第52回） 2022年11月23日（祝・水）18時00分から？）
- ・事務局会議は当面、毎月第4水曜日 18時00分から1時間程度開催。

## 「復興農学会」事務局会議（第 51 回） 議事録

文責 佐伯 爽（福島大学）

日時 2022 年 10 月 26 日（水）18 時 15 分～19 時 20 分

方法 Zoom による Web 会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒滝 秀久（東京農業大学）、菅原 優（同）、大川 泰一郎（東京農工大学）、安達 俊輔（同）、小倉 振一郎（東北大学）、石井 秀樹（福島大学）、横山 正（同）、佐伯 爽（同）  
（敬称略）

### 議事録（案）

#### 1. 学会誌・編集委員会関係について（横山）

横山 特任教授より、第 3 巻第 1 号（2023 年 1 月発行予定）の投稿・審査状況について報告があった。

生源寺 会長からの投稿予定があること、学生からの投稿が複数件予定されていること、11 月以降、会員に再度投稿を呼びかけること等の報告があった。

黒滝 教授より、首長のインタビューの連載についてスケジュール化したらどうかとの意見があり、編集委員会で検討することとなった。

#### 2. 規程等の整備について【資料】（新田／代理・石井）

石井 准教授より、福島大学の事務局で検討された「復興農学会 幹事および監事選考要領（案）」および「復興農学会 学会賞規定（案）」について紹介された。なお、復興農学会会長および副会長は幹事の中から選ばれる（会則第 6 条）ため、幹事を選出する必要があること、監事と幹事はかねることが出来るが、独立して選出する必要があることが説明された。また、「学会賞規定（案）」については、多くの学会で学会賞規定が設定されていることから、本学会でも設定したいことが報告された。

「復興農学会 幹事および監事選考要領（案）」については、黒滝 教授より、10 名連記式で選出するのか、1 名ずつ 10 名分選出するのか、明確にした方がよいとの意見があった。

「学会賞規定（案）」については、各出席者より、論文数が少ない現状においては、復興農学会論文賞、復興農学会優秀発表賞、復興農学会貢献賞から先行して規程を制定し、論文数が充実した段階で、今回示された復興農学会賞なども増やしてはどうかとの意見があった。

以上の意見をもとに、事務局で原案を修正し、11 月の本会議で再度検討することとなった。

#### 3. 研究会の開催について【資料】（新田／代理・石井）

石井 准教授より、福島大学の事務局で検討された「復興農学会研究会 総会実施（案）」について紹介された。

黒滝 教授から、浪江町で実施する場合には、開催場所の調整などについて斡旋することは可能であることが報告された。一方、各出席者より、利便性の面や生源寺 会長が基調講演を行うことを考えると、福島大学で開催する方がよいのではないかとの意見があったとともに、一般講演が午前中のみでは時間が不足することから、3 月 17 日および 18 日などとして、2 日間でスケジュールを組み立てると良いのではないかとの意見があった。

以上の意見をもとに、事務局で原案を修正し、11 月の本会議で再度検討することとなった。

#### 4. 会費の納入状況について（新田／代理・石井）

石井 准教授より年会費納入状況について報告があり、2022 年度年会費として 66 名から、2023 年度年会費として 3 名から納入があったことが報告された。

溝口 教授より、納付された年会費の会計報告が必要になるとの意見があった。また、各出席者より、未

納付の方に、どのタイミングで再度納入のお知らせするか検討する必要があるとの意見があった。

## 5. その他

### (1) 東北大学 次世代食産業創造センター開設シンポジウム（小倉）

小倉 教授より、東北大学次世代食産業創造センター開設シンポジウムが下記のように開催されることが報告された。

日時：2022年11月11日（金）13:00～17:00

開催形式：東北大学 青葉山新キャンパス 青葉山コモンズ（現地会場）・  
Zoomによるハイブリッド開催

参加申込：下記フォームよりご登録（締切：11月7日（月））

<https://forms.gle/EkJ7YNYXcDFi7K4q9>

### (2) 日本農学会 2022 年度シンポジウムについて（溝口）

溝口 教授より、日本農学会シンポジウムにおいて、「地域バイオマスを活用した堆肥づくりと除染後農地土壌の肥沃度向上」というタイトルで、講演を実施したことが報告された。

。

### (3) 「サマースクール」等の実施について（新田／代理・石井）

「サマースクール」等の実施について、継続して審議され、以下のような参考意見があった。▼高校生30名を対象とした飯舘村の実地研修では、川俣町の体育館を宿泊施設として利用した。飯舘村まで20分程度で利便性が良く、「サマースクール」でも宿泊場所として使用可能かもしれない（溝口 教授）。▼第一回目は規模は小さめであっても、次年度につながる形で実施するのがよいのではないかと（黒滝 教授）。

2023年8月下旬をめどに、2泊3日程度のプログラムを実施することができないか、本会議において継続審議することとした。

### (4) 本会議の今後の開催日時について（新田／代理・石井）

石井 准教授より、「伝助」で日程調整をした結果、11月以降は、毎月第4月曜日18時00分から1時間程度として実施することが報告された。

### (5) その他

杉野 助教より、日本農学会加盟学協会調査票について、作成を求められていることが報告された。2023年度の日本農学会運営委員を決める必要があり、杉野 助教が継続して担当することが提案され了承された。

## 今後の予定

- ・事務局会議（第52回） 2022年11月28日（月）18時00分から
- ・事務局会議（第53回） 2022年12月26日（月）18時00分から
- ・事務局会議は当面、毎月第4月曜日 18時00分から1時間程度開催。

「復興農学会」事務局会議（第 52 回） 議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2022 年 11 月 28 日（月） 18 時 00 分～18 時 40 分

方法 Zoom による Web 会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、菅原 優（東京農業大学）、大川 泰一郎（東京農工大学）、  
安達 俊輔（同）、内田 修司（福島高専）、新田 洋司（福島大学）、横山 正（同）、佐伯 爽（同）  
（敬称略）

議事録

1. 学会誌・編集委員会関係について（横山）

横山 特任教授より、総説 1 報が投稿されたことが報告された。また、横山 特任教授が以前、原著論文等の執筆・投稿を依頼した先生方には原稿の作成状況等を確認することとなった。横山 特任教授より、あらためて論文の執筆・投稿が依頼された。

2. 規程等の整備について【資料】（新田）

新田より資料にもとづいて、「復興農学会幹事および監事選考要領」（案）について、前回の本会議での意見を踏まえた修正提案が説明された。具体的には、幹事および監事の選考時に被選考者名を連記することを明記した提案であった。審議の結果、了承され、次回の総会で審議されることとなった。

3. 研究会の開催について【資料】（新田）

新田より資料にもとづいて、次回の研究会・総会の実施（案）について、前回の本会議での意見を踏まえた修正提案が説明された。審議の結果、以下のように実施することとなった。

なお、本会議の先生方には、実施日程等に不都合等がある場合は、新田まで連絡することが確認された。

復興農学会 研究会・総会 実施（案）		
日時：2023 年 3 月 18 日（土） 8 時 30 分～20 時 00 分		
場所：浪江町会場・リモート（併用）		
研究会での発表課題：24 課題を想定（2022 年 3 月 18 日開催の研究会では 26 課題）		
プログラム（案）		
時刻	会場	
	第 1 会場	第 2 会場
08 時 30 分	試写・事務連絡	
09 時 00 分	一般講演（12 課題）	一般講演（12 課題）
12 時 00 分	休憩	
13 時 00 分	総会（45 分） 基調講演（1 時間） シンポジウム（2.5 時間）	
18 時 00 分	情報交換会	

4. 会員の会費の納入状況について（新田）

新田より会員の会費の納入状況について報告があった（下表）。会費徴収を開始した本年度までに、すでに 2 回納入した会員（3 名）は、2 回目の納入を 2023 年度分としたこともあわせて報告された。

未納者が多いことが指摘されたが、会費納入のリマインドなどは現段階ではせず、ようすをみて再度検討することとなった。

	2023 年度会費	2022 年度会費
納入者数	3	68
納入合計金額	6,000	136,000
納入全年度合計金額	142,000	

## 5. その他

(1) 東京農工大学主催 研究活動事業報告会の共催について【資料】(大川)

大川 教授より資料にもとづいて、東京農工大学主催 研究活動事業報告会について紹介があり、本学会への共催依頼があった。審議の結果、了承された。本報告会の開催情報は、本学会のホームページにもアップすることとなった。

以上

## 今後の予定

- ・事務局会議（第 53 回） 2022 年 12 月 26 日（月）18 時 00 分から
- ・事務局会議（第 54 回） 2023 年 1 月 23 日（月）18 時 00 分から
- ・事務局会議は当面、毎月第 4 月曜日 18 時 00 分から 1 時間程度開催。

## 「復興農学会」事務局会議（第 53 回） 議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2022 年 12 月 26 日（月）18 時 00 分～18 時 30 分

方法 Zoom による Web 会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、新田 洋司（福島大学）、佐伯 爽（同）  
（敬称略）

### 議事録

#### 1. 学会誌・編集委員会関係について

横山 特任教授、安達 准教授にかわり、新田、佐伯 研究員より情報提供と確認があった。現在、総説 2 報、短報 1 報、「現場からの報告」3 報が審査中・掲載予定であることが報告された。また、さらに投稿予定（1 報）があることも報告された。

#### 2. 第 2 回研究会・総会の開催について【資料】（佐伯）

佐伯 研究員より資料にもとづいて、第 2 回研究会・総会の開催要領等を記載した「会告」について報告があった。審議の結果、場所・会場、参加費については福島大学事務局で再検討し、再度提案することとなった。また、それ以外の部分についてはおおむね了承され、近く、ホームページに「会告」として掲示し周知することとなった。

#### 3. 2023 年度日本農学会総会・日本農学賞選考会について【資料】（新田）

新田より資料にもとづいて、2 月 11 日（土・祝）にリモートで開催される日本農学会総会・日本農学賞選考会の本学会からの出席等について審議された。審議の結果、新田が生源寺 会長に相談し、場合によっては新田が出席する可能性を含めて検討することとなった。なお、日本農学会事務局への提出締め切りは 1 月 19 日（木）。

#### 4. 2023 年度日本農学会シンポジウムについて【資料】（新田）

新田より資料にもとづいて、来年 10 月 7 日（土）に開催される日本農学会シンポジウム（全体テーマ：激動する社会と農学（仮））について、本学会からの話題提供等について審議された。審議の結果、今回は本学会から積極的に話題提供者をださなくてもよいと考えるが、次回の本会議（1 月 23 日（月））で再度検討することとなった。なお、日本農学会事務局への提出締め切りは 1 月 27 日（金）。

#### 5. その他

なし

以上

### 今後の予定

- ・事務局会議（第 54 回） 2023 年 1 月 23 日（月）18 時 00 分から
- ・事務局会議（第 55 回） 2023 年 2 月 27 日（月）18 時 00 分から
- ・復興農学会第 2 回研究会・総会
- ・事務局会議は当面、毎月第 4 月曜日 18 時 00 分から 1 時間程度開催。

「復興農学会」事務局会議（第 54 回） 議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2023 年 1 月 23 日（月） 18 時 00 分～18 時 35 分

方法 Zoom による Web 会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、大川 泰一郎（東京農工大学）、小倉 振一郎（東北大学）、内田 修司（福島高専）、新田 洋司（福島大学）、横山 正（同）、佐伯 爽（同）  
（敬称略）

議事録（案）

1. 学会誌・編集委員会関係について（横山）

横山 特任教授より、1 月末に発行予定の復興農学会誌 第 3 巻第 1 号の審査・編集状況等について、原著論文 1 報、総説 1 報、オピニオン 1 報、現場からの報告 3 報が掲載予定であり、総ページ数が 65 ページ程度になる見込みとの報告があった。また、原著論文 1 報がさらに投稿されており、第 3 巻第 2 号（2023 年 7 月発行予定）に掲載予定であることもあわせて報告された。

2. 第 2 回研究会・総会の開催について【資料】（佐伯）

新田より、3 月 18 日（土）開催予定の第 2 回研究会・総会の開催地について、福島県浪江町から福島市（福島大学を含む）に変更することを事務局会議でメール審議（1 月 14 日～20 日）した結果、異論はなかったことが報告された。つづいて、佐伯 研究員より資料にもとづいて、福島市で開催する場合の会場等の候補地案が説明された。審議の結果、福島大学で開催することが適当とのことになり了承された。

今後は福島大学に設置された運営委員会で会告を修正するとともに、実施要項等を公示し、準備を進めることになった。

3. 2023 年度日本農学会総会・日本農学賞選考会について（新田）

新田より、2 月 11 日（土・祝）にリモートで開催される日本農学会総会・日本農学賞選考会に生源寺 会長が出席することになったことが報告された。

4. 2023 年度日本農学会シンポジウムについて【資料】（新田）

新田より資料にもとづいて、10 月 7 日（土）に開催される日本農学会シンポジウム（全体テーマ：激動する社会と農学（仮））について説明があった。また、本学会からの話題提供については、審議の結果、見送ることが確認された。

5. その他

(1) 関西学院大学災害復興制度研究所主催フォーラムにおける話題提供について（溝口）

溝口 教授より、1 月 7 日（土）に「2023 年復興・減災フォーラム『関東大震災 100 年 われわれに遺したものの～帝都復興と人間の復興』」（主催：関西学院大学災害復興制度研究所）が開催され（関西学院会館）、「全国被災地交流集会『円卓カフェ』」で話題提供したことが報告された。

(2) 福島国際研究教育機構 理事長予定者との面談について（溝口）

溝口 教授より、1 月 18 日（水）に福島国際研究教育機構の理事長予定者 山崎 光悦 金沢大学元学長と面談したこと、復興農学会誌 第 1 巻第 1 号が手交されたこと等が報告された。

以上



#### 今後の予定

- ・事務局会議（第55回） 2023年2月27日（月）18時00分から
- ・復興農学会第2回研究会・総会 2023年3月18日（土）
- ・事務局会議（第56回） 2023年3月27日（月）18時00分から  
（事務局会議は当面、毎月第4月曜日 18時00分から1時間程度開催）

## 「復興農学会」事務局会議（第 55 回） 議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2023 年 2 月 27 日（月）18 時 00 分～18 時 40 分

方法 Zoom による Web 会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、菅原 優（同）、小倉 振一郎（東北大学）、内田 修司（福島高専）、新田 洋司（福島大学）、横山 正（同）、佐伯 爽（同）  
（敬称略）

### 議事録

#### 1. 学会誌・編集委員会関係について（横山）

横山 特任教授より、7 月末に発行予定の復興農学会誌 第 3 巻第 2 号について、複数の原著論文が投稿される予定であることが報告された。また、第 2 回研究会の講演要旨およびシンポジウム講演要旨についても掲載予定であることが報告された。

#### 2. 第 2 回研究会・総会・公開シンポジウムの開催について【資料】（新田、横山、佐伯）

新田より資料にもとづいて、総会資料（暫定版）とその内容について説明があった。総会の「審議事項」の以下の点について審議・了承された。

「復興農学会幹事および監事選考要領」で、第 2 条に「選挙で選出される幹事数の 1 割程度を限度として幹事を追加することができる」とあるが、具体的な人数は 1 名であることが確認された。

また、「復興農学会 学会賞規程」で、第 1 条に記されている 5 種の賞は、毎年、該当者がいない場合もあり全賞が授与されるとは限らないことを規程に記載することとなった。

なお、本総会資料は暫定版であり未定稿の部分を修正し、事務局会議メンバーに配信して確認を得、3 月 10 日（金）ごろまでには確定したいことが報告され確認された。

幹事・監事、会長・副会長の選出を以下のように進めること、また、選挙管理委員会を福島大学内事務局に置くことが了承された。

##### ・幹事（10 名）・監事（2 名）の選出

Google フォームで、3 月 19 日（日）～31 日（金）に投票、4 月 1 日（土）に開票。

##### ・新メンバーによる幹事会と会長・副会長の選出

4 月 7 日（金）18 時 00 分より開催。会長・副会長を選出

佐伯 研究員より、第 2 回研究会の準備状況等について、現在、発表演題が 5 題申し込まれていることが報告された。新田より積極的な発表が依頼された。

#### 3. その他

##### (1) 第 2 回研究会における基調講演の配信について

溝口 教授より、非学会員から第 2 回研究会における基調講演（生源寺 会長）（公開シンポジウム前の 13 時 00 分～13 時 30 分）をリモートで聴きたいとの要望があることが報告された。審議の結果、ライブ配信の Zoom URL は公示せず、後日 YouTube にアップする動画のみをみってもらうこととなった。

##### (2) 今後の本会議の開催について（新田）

新田より今後の本会議の開催について、現在修正中の総会資料は、随時、本会議メンバーに提案して意

見を聴取しながら確定させることが確認された。また、次回の本会議は3月27日に開催予定であること、来年度は新メンバーによって日程調整が行われ開催されること等が確認された。

以上

#### 今後の予定

- ・復興農学会第2回研究会・総会・公開シンポジウム 2023年3月18日（土）
- ・事務局会議（第56回） 2023年3月27日（月）18時00分から
- ・事務局会議（第57回） 2023年4月★日（★）★時★分から

## 「復興農学会」事務局会議（第56回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2023年3月27日（月）18時00分～18時40分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、菅原 優（同）、大川 泰一郎（東京農工大学）、小倉 振一郎（東北大学）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、佐伯 爽（同）  
（敬称略）

### 議事録

#### 1. 学会誌・編集委員会関係について（横山、安達）

報告等はなかった。

#### 2. 第2回研究会・総会等の開催について【資料】（新田、石井、佐伯）

新田より、去る3月18日（土）に福島大学で開催された第2回研究会・総会ならびに基調講演、シンポジウムが盛会裡に終了できたことについて、報告があり謝意が表された。ついで、石井 准教授、佐伯 研究員より資料にもとづいて開催状況について報告があった。

なお、▼高等学校参加者から、研究会参加の際、高校生は個人登録ではなく学校として「団体登録」にできないか、▼復興農学会は学会ではあるが、研究会では学術成果の発表や議論ばかりではなく、農業・農学の復興に関連した体験や経験、成果などの発表も歓迎したい、▼高校生を含めて発表しやすい会がのぞまれる、▼会場等の関係もあるが発表題数は制限しない方がよい、などの意見があった。これらについては確認・検討し、次回以降の研究会・総会等の参考にすることとなった。

#### 3. その他

##### (1) 幹事・監事の選出選挙ならびに会長・副会長の選出について（新田）

新田より、現在、幹事10名・監事2名の選出選挙が実施されていること（投票期間：3月19日（日）～3月31日（金）、開票：4月1日（土）。いずれもGoogleフォーム利用。福島大学の事務局に選挙管理委員会設置）、幹事のうちから会長1名、副会長若干名を互選する幹事会を4月7日（金）18時00分より開催予定であることが報告された。

##### (2) 事務局会議のあり方について

3月18日（土）に開催された総会の際、事務局会議のあり方について質問があったことが報告され、あわせて、事務局会議と幹事（会）のあり方について整理した方がよいとの意見がだされた。おもな意見は以下のとおり。

▼事務局会議は本学会設立までの準備会議として設置され機能してきたが、現在の事務局会議の機能は、他の学会等では幹事会あるいは評議員会が担っている。

▼本年4月に新幹事が決定したあとは、これまでの事務局会議と幹事会の機能を明確にした方がよい（事務局会議を廃止して、幹事会に一本化することなど）。

▼事務局会議を廃止して幹事会に一本化した場合でも、庶務や会計を担当する事務機能は別に置いた方がよい。

▼幹事（会）は将来的には評議員（会）とするのが適当と考えられる。

このことについて、新幹事（会）で検討することとなった。

以上

今後の予定

- ・ 幹事・監事選出選挙 投票：3月19日（日）～3月31日（金）、開票：4月1日（土）
- ・ 幹事会 4月7日（金）18時00分から
- ・ 事務局会議（第57回） 2023年4月★日（★）★時★分から